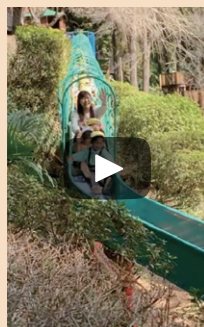


動画で見る！
とある1日の1場面！

SCENE 1 ローラー滑り台

柿の実幼稚園自慢のローラー滑り台。子どもたちに大人気！我こそはと滑り始める。クラスみんなで滑ることができるほどの長さが自慢。



みんなで
やっほー！

Check movie
on YouTube



SCENE 2 主活動の時間

今日はダンス！音楽が聞こえると子どもたちは元気いっぱい踊り始めた。発表会が近づくと練習の時間にあたり、絵本の読み聞かせの時間にしたりと毎日工夫している。



流行りの
この曲で……

Check movie
on YouTube



柿の実学園グループ
(取材園：柿の実幼稚園)

法人情報
神奈川県川崎市麻生区
上麻生7-41-1
☎044-988-0229
設立：1962年4月



柿の実幼稚園を主軸とし、川崎市、横浜市、東京都などに幼稚園、保育園、児童発達支援施設などを有する。「みんながってみんないい」という考えのもとに、ハンディキャップのある園児の受け入れも柔軟に対応、お互いに一緒に学びあうことが当たり前の環境。

オンライン
園見学

オンライン
説明会

オンライン
相談会

金谷先生の
とある1日のスケジュール



元気に登園してくる様子や、一日楽しかった！という表情を見ることができると、「今日も充実した一日を過ごしてもらえた！」と実感し、「明日は何しよう？」と考える時間が大好き！

めて焚火ごっこをしていました。木の実を集めて何ができるか、子どもたちの想像は膨らみます。常に自然が身近にある環境の中で子どもたち一人ひとりの考えを大切に保育に繋げています」と柿の実幼稚園モットーの真面目に遊ぶ秘訣を語った。さらに、柿の実幼稚園の魅力は、大自然が広がる園庭だけではなく、室内アスレチックや地下迷路も園舎内にある。

保 護者の方に降園していく子どもたちの様子を伝えると、掃除や晴れの日も雨の日も子どもたちのわくわくが止まらない仕組みがたくさんだ。12時、お腹を空かせた子どもたちが教室に戻ってくる。そして13時には降園の準備が始まる。幼稚園の一日はあっという間だ。降園後も子どもたちは遊び足りず、大自然に向かって行く。

次の日の保育準備に取り組み金谷先生。「柿の実幼稚園は30以上のクラスがあります。だから先生もたくさん。正直初めは大勢の先生とのコミュニケーションが大変そう」と不安でした。でも、そんな心配は必要なかったんです。先生同士の連携は抜群で、困ったときにはすぐに助けてもらえますし、ちょっとした相談も他愛もない会話も、なんでも聞いてくれ

る先輩ばかりです。特に同じ園舎の先生は、毎日協力し合っているのがチームワークばつり。担任は1人ですが柿の実の子としてみんなで育てようという想いで、先生みんなで子どもたちを見守っています。クラスを超えての関わりが自慢です！」と胸を張った。発見とトキメキを探しに、一度柿の実幼稚園に足を運んでみて欲しい。

園 児数約1000人。1000人を超える先生が集まる柿の実幼稚園。自然に恵まれた広大な敷地で「みんながってみんないい」という考えのもとに、ハンディキャップのある園児の受け入れも柔軟に対応している。子ども一人ひとりの自由な発想を大切にしている柿の実幼稚園とある一日を覗いてみた。今話を聞いたのは、金谷直先生。「園見学の際、四季を身近に感じる大自然の中でこんなに伸び伸びと遊べる幼稚園はないと感じました。自分自身がときめくこの環境で働きたい」と心に決めただ

登 園は、今日も楽しい一日が始まる。子どもたちと顔を合わせ、今日は何をしようかと考えるのが楽しい！子どもの表情を見て、保護者の方からご家庭での子どもの様子を伺うこの時間もとても大切な時間です」と金谷先生は言う。柿の実

幼稚園の敷地内には6つの園舎があり、各園舎に集まる学年も様々。金谷先生が担任を務める年少ひよこ組は、敷地内の一番高いところに位置する山の家だ。毎朝子どもたちは山を登り、教室に登園して行く。「子どもたちは元気に登ってき

10 時。子どもたちが一斉に外に飛び出す。「当園の敷地は広すぎて、私も子どももまだ発見できていないことがたくさんあります。子どもたちは、毎日新しい発見を探しに出かけます。毎日ピクニックなんです！」と金谷先生は楽しそう。大自然の中では、子どもたちから生まれる遊びがたくさんある。「最近はこちら遊びが流行りで、木の実を集



素敵な先生のとある1日

毎日がピクニック 大自然で特別な経験を トキメキの毎日

洗足こども短期大学 卒業 2020年4月 入職 **金谷直** Kanaya Nao

園見学に訪れた時「こんな自然の中で遊べるんだ」とトキメキ、その日にここで働きたいと申し出た。保育は自然を取り入れた制作や園内の野菜や果実での食育など、大自然の中で毎日新しい出会いと発見を楽しんでいる。子どもたちの発想を大切に、たくさんの経験ができるよう見守りつつ一緒に楽しむ、太陽のような先生。

